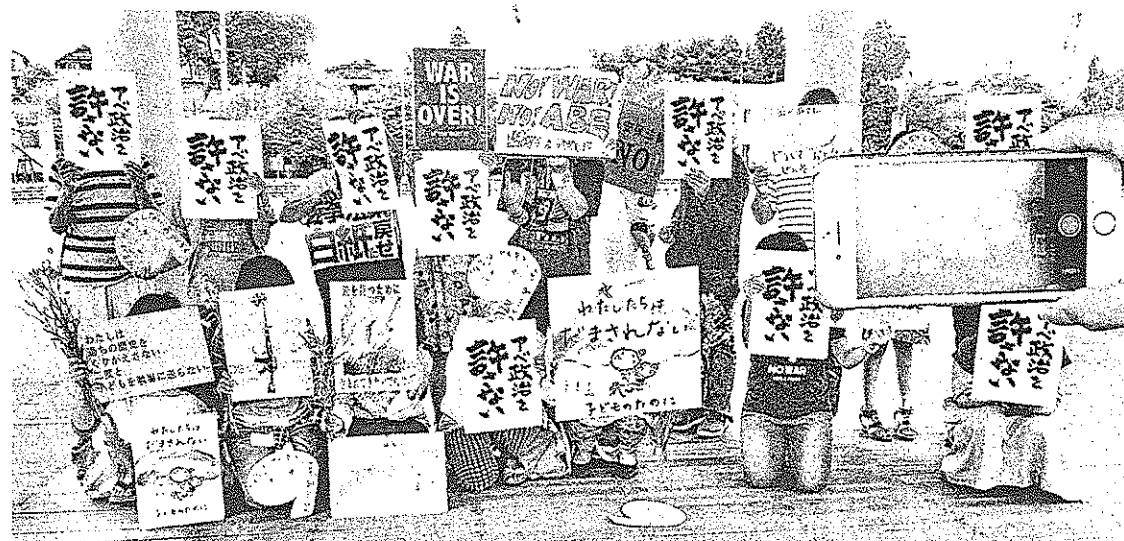


安保法案主婦ら「NO」

鯖江 SNS投稿し 反対活動



プラカードを掲げて写真を撮り、安全保障関連法案反対の意思表示をする市民ら＝鯖江市文化の館前で

衆議院を通過した安全保障関連法案に対し、越前市や鯖江市の女性らが、鯖江市内で十八日、反対の意思表示をする活動をした。越前市の主婦①が、一市民としてできることを、と知人らに呼び掛け、反対のプラカードを掲げる全国一斉行動に合わせて実施した。

①面参照

参加したのは、女性の知人や家族ら子どもを含む二十五人。鯖江市水落町二丁目の市文化の館前に集まり、「アベ政治を許さない」「わたしたちはたまたま」など書いたプラカードを掲げ、次々と写真を撮影してインターネットの会員制交流サイト(SNS)へ投稿した。

越前市の主婦は「安保法案の成立は、国を戦争に向かわせるのでは」と危機感を募らせていたが、小さな子どもがいてデモに参加するのに抵抗があった。「何にも属さない、普段声を上げられない人たちがいる。名

前や顔を出さなくても、一個人として世の中に発信する場をつくりたかった」。ロコジで鯖江での活動の賛同者を募った。

鯖江市の主婦②は「子どもや孫が戦争やテロに巻き込まれてしまったらと思うと不安。政治や宗教も関係なく、声を上げたかった」。一児の母の越前市の主婦③も「小さなまちで子どもも小さい。守るものが

あるから表だっては動けなかった」。地域の目を気にして、普段は目立つことは避けたと思っていたが、意を決して参加したという。

発起人の主婦は「職場や地域で声を上げられなかった人が意思表示するきっかけになって良かった。言いたいけど言えないことを互いに共有できて、心強かった」と話していた。

(松原育江)

7/19
市民福祉